



3 学年がそろそろ生活の締めくくりー2 月を振り返るー

校長 河辺 哲也

1 立志式について

2月7日（金）2年生の立志式を行いました。義務教育を終えた後、自分の道は自分で決める。後悔しない。その考えをもつきっかけが、この立志式です。一人一人が、体育館で発表した自分の決意が、今後の自分自身を支えてくれると思います。また、今年度は、本校卒業生の小山文彦さん（株式会社レノファ代表取締役会長）をお招きして、講演をいただきました。「目指すものに取り組めることが、幸せなことです。」「山口県への愛着、須々万への愛着が、今の自分の支えの一つ」という小山さんの言葉が、印象的でした。

また、自分がこれからの生活で大事にしたい言葉を紙に書き、その紙を使って「凧」を作りました。そして、2月13日（金）の6校時に、その凧をあげることができました。凧づくりには、地域の方に来ていただき、指導していただきました。本当にありがとうございました。（右写真）



2 第3回学校運営協議会を行いました。

須々万中学校は、地域のなかにある学校です。生徒のみなさんや保護者の方は、須々万中学校の生徒、保護者であるとともに、地域住民でもあります。そのことを踏まえ、教職員と生徒、保護者、地域の方で、須々万中学校を作っていこう、さらに高めていこうという組織が、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）です。



2月18日（火）に第3回学校運営協議会を行いました。（右写真）

会長は、飯田唯志さん（中須地区代表）、副委員長は野村龍雄さん（須金地区代表）です。出席者は、教職員全員と生徒会執行部、専門委員長、そして地域の委員の方です。総勢29名になります。以下のテーマで、委員の方と協議しました。

ともにー「ともに学ぶ」「ともに楽しむ」「ともに創る」ー

司会や進行の仕方は、「自分たちの手で会を行いたい」という強い希望があり、すべて話し合いは生徒たちの手で行いました。「ともに学ぶ」「ともに楽しむ」「ともに創る」という3つの視点から、生徒各自が自分の提案を行いました。委員の方は、生徒の声を大事にしていこうとされ、充実した会となりました。

（参加した生徒の声）

○自分たちが考えた案だったが、地域の方の視点で見ていただき、よさだけではなく、課題や問題点もあわせて話していただけた。視点を変えて物事を見る大切さを学んだ。また、地域の方と話をしたい。

（委員さんの声）

○6地区を大事にしようという生徒のみなさんの姿勢が、とてもうれしかった。生徒のみなさんの声を「実現させたい」と思いました。意見交換が楽しかったです。